



## 豊岡消防署城崎分署新庁舎が完成 ～地域住民を守る拠点施設～

平成 24 年度から整備を進めてきた豊岡消防署城崎分署新庁舎がこのほど完成した。移転準備を進め、4 月下旬から業務を開始する。

### 1 施設整備経緯

現在の城崎分署庁舎は、昭和 45 年に城崎町消防本部城崎消防署庁舎として建築されたもので、建築から 44 年が経過し、施設全体の老朽化が著しかった。

また、敷地が狭隘で十分な訓練スペースもないことから、場所を移して新庁舎を整備することとした。

### 2 新庁舎の概要

#### (1) 所在地

豊岡市城崎町湯島 71-1

(これまでの庁舎は、豊岡市城崎町湯島 584)

#### (2) 構造

鉄筋コンクリート造 2 階建

#### (3) 規模

ア 敷地面積 1,302.39 m<sup>2</sup>

イ 建築面積 694.31 m<sup>2</sup>

ウ 延床面積 1,106.63 m<sup>2</sup>

(1F 669.16 m<sup>2</sup>、2F 372.96 m<sup>2</sup>、塔屋 64.51 m<sup>2</sup>)

#### (4) 総事業費

約 3 億 8,268 万円

#### (5) 主な特徴

##### ア 防災拠点

消防団車庫や防災倉庫を併設し、豊岡市北部の防災拠点としての機能を有する。

##### イ 訓練施設

(ア) 屋上や外壁など、限られたスペースを有効に利用して、救助訓練施設を整備。

(イ) はしご車の架梯訓練や消防団のポンプ操法訓練、自主防災組織の放水訓練ができるスペースを確保。

##### ウ 景観との調和

屋根を和瓦仕様とし、外観にも随所に和の基調を取入れるなど、城崎温泉街の景観との調和を考慮して整備。

##### エ エコ対策

太陽熱温水器をはじめペレットストーブ、LED 蛍光灯、ペアガラスの使用など、環境に配慮。



## (6) その他

### ア 職員数

17人

### イ 配備車両

(ア) はしご車	1台
(イ) 消防ポンプ車	1台
(ウ) 高規格救急車	1台
(エ) 査察広報車	1台

## 3 業務開始

電話回線及び消防指令回線等の移設に伴い、平成27年4月23日（木）から業務を開始する。

## 4 開署式

### (1) 日時

平成27年4月27日（月）午前10時～11時

### (2) 場所

豊岡消防署城崎分署

### (3) 内容

- ア 式典
- イ テープカット
- ウ 演技
  - (ア) 消防太鼓
  - (イ) 救助救出訓練
- エ 施設見学

### (4) 出席者

県議会議員、市議会議員、城崎町内会長、港区長会長、関係消防団長、関係団体、豊岡市長など

〔問合せ〕 豊岡市消防本部総務課 Tel.0796-24-8047(直通)